

本資料は 2017 年 10 月 26 日付の国際柔道連盟（IJF）試合審判規定の対訳であり、2018 年 1 月 1 日より IJF 主催大会において適用される。

日本国内の大会における適用開始時期、方法については本連盟審判委員会より追って発表する。

- ・Text in black is the same as the 9 June 2017 version
- ・Slides with new text have the new blue icon in the top right corner

文章の黒字は 2017 年 6 月 9 日版から変更のない部分

変更部分は青字（下線）で標記

Distinguished members of the international judo community,

I am pleased to introduce to you our new detailed explanation of the rules effective from 01st of January 2018.

In the process of development of our sport, it is of utmost importance to do the best, first of all for the content and the image of our sport, for a better comprehensibility and consistence of the rules for judokas, judo lovers and the World.

We are continuously reforming the strategy in all the sectors of the IJF to make our sport a modern one, outstanding and understandable for everyone.

I' m convinced the new elements of the rules and judo methodic will be a great benefit for the judo family, spectators, partners and media.

世界中の柔道関係者の皆様へ

2018 年 1 月 1 日から導入される新しいルールについて、皆様にご紹介できることを喜ばしく思います。

柔道選手や柔道を愛する方々、そして世界に対し、より理解しやすく一貫性のあるルールを発信し、競技の内容やイメージを改善していくことは、柔道界のさらなる発展の為、最善を尽くすべき重要事項です。

IJF では、柔道がより現代的で、傑出した存在であり、皆に理解できるものであるよう、全ての分野における戦略を継続的に見直して参りました。

私は、新ルールの要素と競技方式が、柔道ファミリー、観客、スポンサー、そしてメディアの皆様に対し、多大なる恩恵をもたらすことを確信しております。

Marius L. Vizer

President

International Judo Federation

国際柔道連盟

会長 マリウス・ビゼール

Main points from IJF Executive Committee Working Meeting

IJF 理事会作業部会（2017 年 10 月 18 日）において決定された主なポイント

- ・ Definition of waza-ari and of ippon, amplification of the evaluation of ippon, more value will now be given.
- ・ Definition of bridge and head defence and all the consequences.
- ・ Double hansoku-make for negative judo.
- ・ Give the power to the central referee on the tatami to do their job and for the supervisors and referee commission to intervene only when there is a major mistake.
- ・ Continue to promote positive judo.
- ・ 「技あり」と「一本」の定義。一本の評価基準を再検討した。
- ・ ブリッジ、ヘッドディフェンスの定義と全ての事例について。
- ・ ネガティブな柔道による「両者反則負け」。
- ・ 試合場内の主審が的確な判定を下せるよう権限を与え、スーパーバイザー及び審判委員は重大な過誤が見られた場合にのみ介入する。
- ・ ポジティブな柔道を引き続き促進していく。

Duration of contests 試合時間

- ・ Men and women four (4) minutes
- ・ 男女とも 4 分

立技におけるスコアの評価 Evaluation of the points in tachi-waza

- ・ There will now only be ippon and waza-ari.
- ・ Ippon will be given when the contestant throws his opponent on the back, applying a technique or countering his opponent's attacking technique, with considerable ability with maximum efficiency (*).
- (*) “ikioi” = momentum with both force and speed.
“hazumi” = skillfulness with impetus, sharpness or rhythm.
- ・ Criteria for ippon
 1. Speed;
 2. Force;
 3. On the back;
 4. Skilfully control until the end of the landing.
- ・ Rolling can be considered ippon only if there is no break during landing.
- ・ スコアは「一本」と「技あり」のみとする。
- ・ 一本は、技を掛けるか相手が攻撃してくる技を返して、最適な理合い(*)を伴う相応な技術で、仰向けに相手を投げた場合に与えられる。
- (*) “ikioi” = 力強さとスピードを伴った“勢い”を意味する。
“hazumi” = 技術、キレ、リズムを伴った巧みさを“はずみ”という。

・ 一本の評価基準

1. スピード
2. 力強さ
3. 背中が着く
4. 着地の終わりまでしっかりとコントロールしている

・ ローリングに関しては、(背中の一部が) 着地してから中断せずに背中が着いた場合にのみ「一本」を与える。

※全柔連事務局注：

2017 年 10 月 18 日 (クロアチア・ザグレブ) の IJF 理事会作業部会 (ルール検証会議) において一本の定義が再度議論され、講道館柔道本来の一本の定義に近づく形で合意された。上記は IJF 発行資料の和訳であるが、以下に講道館柔道の一本の定義を記載する。

『柔道の本一の定義』

「技を掛けるか、又は相手の技をはずして、相当の勢い、あるいははずみで、だいたい仰向けに倒したとき」

Evaluation of the points スコアの評価

- ・ Waza-ari will be given when the four ippon criteria are not fully achieved.
- ・ The value of waza-ari includes those given for yuko in the past.
- ・ Two waza-ari are the equivalent of one ippon (waza-ari-awasete-ippon) and the contest will be finished.
- ・ 「一本」の 4 つの評価基準全てを満たしていない場合、「技あり」が与えられる。
- ・ 「技あり」の評価には、以前の「有効」も含まれる。
- ・ 「技あり」2 つで「一本」(技あり、合せて一本) とし、試合は終了する。

Waza-ari 「技あり」

- ・ The value of waza-ari includes those given for yuko and waza-ari in the past.
- ・ Landing on both elbows or two arms is considered valid and should be evaluated with waza-ari.
- ・ Landing on one elbow, on the bottom or the knee with immediately continuation on the back will be waza-ari.
- ・ 「技あり」の評価は、以前の「有効」と「技あり」を併せたものとする。
- ・ 投げられる際に両肘又は両手をつき着地した場合、技ありが与えられる。
- ・ 片肘、尻もち、または膝をついて着地し、継続的な流れで直ちに背中を着いた場合、「技あり」が与えられる。



No waza-ari 「技あり」ではない



Bridge ブリッジ

- ・ All situations of voluntarily landing in the bridge position, will be considered ippon
- ・ 故意にブリッジの体勢で着地した全ての動作は「一本」とする。



Head defence ヘッドディフェンス

- ・ Voluntary use of the head for defence to avoid landing in / escaping from a score will be given hansoku-make.
- ・ (相手の投技に対して) 背中から着地することやスコアを取られることを防ぐ為、故意に頭部を使用する動作に対しては「反則負け」が与えられる。



Involuntary head defence - no penalty for tori & uke

故意ではないヘッドディフェンス（取・受双方に罰則を与えない）

・ Special attention will be given to the following situations where tori attempts to throw his opponent during tachi-waza:

- Seoi-otoshi (drop seoi-nage)

- Sode-tsurikomi-goshi with the grip on both sleeves.

- Koshi-guruma with both grips on the collar.

・ 取が投技で相手を投げようと試みた以下のような状況においては特に注意深く判定が行われる。

一 背負落（注：背負投、一本背負投の形で直下に投げ落とす技）

一 相手の両袖を掴んだまま施される袖釣込腰

一 相手の両襟を掴んだまま施される腰車

Involuntary head defence - no penalty for tori & uke

故意ではないヘッドディフェンス（取・受双方に罰則を与えない）

Example 1: Seoi-otoshi (drop seoi-nage)

例 1：背負落（注：背負投、一本背負投の形で直下に投げ落とす技）



Involuntary head defence - no penalty for tori & uke

故意ではないヘッドディフェンス（取・受双方に罰則を与えない）

Example 2: Sode-tsurikomi-goshi with the grip on both sleeves

例 2：相手の両袖を掴んだまま施される袖釣込腰



Involuntary head defence - no penalty for tori & uke

故意ではないヘッドディフェンス（取・受双方に罰則を与えない）

Example 3: Koshi-guruma with both grips on the collar

例 3：相手の両襟を掴んだまま施される腰車



Attack and counter-attack 投技と返し技

- ・ In a case of attack and counter-attack the first competitor landing on his side (yokosutemi-waza) or back (ma-sutemi-waza) cannot score unless he takes clear control of the movement in a tachi-waza position and finishes the action.
- ・ If a score can be given, it will be assigned.
- ・ If the two athletes land together without clear control for either one, no score will be given.
- ・ Any action after landing will be considered as a newaza action.
- ・ 攻撃に対し返し技が施された場合、最初に自身の体側（横捨身技）、もしくは背中（真捨身技）をついた選手が、明らかに立ち姿勢の状態から動作をコントロールし、技を掛けきらない限りはスコアとはならない。
- ・ スコアを与えるに値する場合、適切なスコアが与えられる。
- ・ どちらの選手も明らかに動作をコントロールすることなく、両選手が同時に着地した場合、双方にスコアを与えない。
- ・ 着地後のいかなる行為も寝技とみなす。

Immobilisations (osaekomi) 抑え込み時間

- ・ Waza-ari: 10 seconds
- ・ Ippon: 20 seconds
- ・ 10 秒で「技あり」、20 秒で「一本」とする。

Immobilisations (osaekomi) 抑え込み

- ・The "ura" position is now valid.
- ・裏固は（抑え込み技として）有効である。



Immobilisations (osaekomi) 抑え込み

- ・This kind of osaekomi is not valid
- このような形の抑え方は抑込と認めない。



Immobilisations (osaekomi) 抑え込み

- ・Osaekomi will also continue outside of the contest area as long as osaekomi was called inside.
- ・If during the newaza outside uke takes over the control with one of these nominated techniques in a continuous succession, it shall be also valid.
- ・抑込が場内で宣告された場合、（両者が）場外に出ても抑込は継続される。
- ・場外で寝技（抑込）が施されている時に、受が（※写真のような動作で）継続性をもって主導権を奪い抑込の体勢となった場合、（※取の抑込を「とけた」とした後、受の）抑込を宣告する。



Technical score 試合の決着

- ・ In regular time (4 minutes), a contest can only be won by a technical score or scores (one waza-ari or ippon).
- ・ A penalty or penalties will not decide the winner, except for hansoku-make (direct or accumulative).
- ・ A penalty is never a score.
- ・ There are now two shido and the third shido becomes hansoku-make
- ・ 規定試合時間（4 分）において、試合は「技あり」、もしくは「一本」のテクニカルスコアでのみ決着がつくこととする。
- ・（直接もしくは累計による）「反則負け」を除き、「指導」（1 回目、2 回目）の違いだけでは勝者を決定しない。
- ・「指導」は、相手のスコアとはならない。
- ・「指導」の上限は 3 回とし、3 回目の「指導」は「反則負け」とする。

Golden score ゴールデンスコア

When both players have no technical score or the technical scores are equal at the end of the regular contest time, the contest shall continue in Golden Score regardless of shido(s) given.

・ Any existing score(s) and/or shido(s) from regular time are carried into the Golden Score period and will remain on the score board.

・ Golden score can only be won by a technical score (waza-ari or ippon) or hansoku-make (direct or by accumulative shido).

・ A penalty is never a score.

・ 規定の試合時間が終了した時点で両者にスコアがない、又はスコアが同等である場合、「指導」の有無にかかわらず、その試合はゴールデンスコアに移行する。

・ ゴールデンスコアに移行する前に与えられたスコアならびに「指導」は、ゴールデンスコアに持ち越され、引き続きスコアボードに表示される。

・ ゴールデンスコアにおいては、スコア（「技あり」か「一本」）又は「反則負け」（直接的又は「指導」の累積による）によってのみ勝負が決まる。

・「指導」は、相手のスコアとはならない。

Applying of kumikata 組み手においての適用

・ The time between classic kumikata and making an attack is extended up to 45 seconds as long as there is a positive progression.

- ・ 標準的な組み手から攻撃を行うまでの時間は延長し、積極性と進展が認められる限り 45 秒まで認める。

hido 指導

- ・ Breaking the grip of the opponent with two hands.

相手の組み手を両手できる。



Avoid uke's grip with a blow on his arm or hand.

- ・ 相手の腕や手を叩いて組手をきる。



Pulling out the bottom of uke's jacket or his own jacket

- ・ 相手または自らの柔道衣（裾部分）を帯から出す。



Covering the edge / lapel of the his own jacket preventing the grip of his opponent.

- ・ 相手に組み手を持たせないために襟をガードする。



Blocking the opponent's hands.

相手の手をブロックする。



Help with the legs to break the grip of the opponent.

脚を使って相手の組み手をきる。



Judogi 柔道衣

- ・ For a better efficiency and to have a good grip it is necessary for the jacket to be well fitted in the belt, with the belt tied tightly.
- ・ To reinforce that, the competitor shall arrange their judogi and belt quickly between Mate! and Hajime! announced by the referee.
- ・ If an athlete intentionally loses time arranging his jacket and belt, he will receive shido.
- ・ より効率的に、より良い組み手で組むことができるように、柔道衣の上衣は、きつく縛った状態の帯の中に収まっていなければならない。さらに、選手は、主審が「待て」を宣告してから「はじめ」を宣告するまでの間に、上衣と帯を素早く正すこと。
- ・ 仮に選手が時間を稼ぐ目的で、柔道衣もしくは帯を乱した場合、「指導」を与える。

Unconventional kumikata 標準的でない組み方

- ・ To simplify the refereeing and it' s understanding some of the actions on how to grab the jacket or belt, all unconventional kumikata (pistol grip, pocket grip, belt grip, one side grip, cross grip ...) is allowed by immediate attack.
- ・ In the case of no immediate attack those grips will be penalized by shido.
- ・ 審判の判断や、(※選手や観客などの) 理解を簡潔化する為、いくつかの柔道衣の握り方を含む、全ての標準的でない組み方 (ピストルグリップ、ポケットグリップ等) は直ちに攻撃をすれば認められる。
- ・ 直ちに攻撃しない場合、これらの組み方に対しては「指導」が与えられる。



- ・ Not taking a classic grip will be penalized by shido if there is not an immediate attack
- ・ 直ちに攻撃しない場合、これらの組み方に対しては「指導」が与えられる。





Bending position ベンディングポジション

・ To force the opponent with both arms to take a bending position without immediate attack will be penalized by shido for a blocking attitude.

・ 両腕で相手を屈ませるような状態にさせ、直ちに攻撃をしない場合、ブロックをしている行為として「指導」が与えられる。



One or two feet outside the contest area 片足、もしくは両足が場外

One foot outside of the contest area without immediate attack or not returning immediately inside the contest area will be given shido.

片足が場外に出ている場合、直ちに攻撃しない、もしくは直ちに場内に戻らない：「指導」

(アクションなく両足が場外に出た場合)「指導」

Shido

「指導」



It is shido: if the athlete in blue, is not going back in the yellow area or is not attacking immediately.
青の選手が直ちに場内に戻らない、もしくは直ちに攻撃をしない：「指導」

Bear hug ベアハグ

- ・ Who wants to attack with bear hug must have a minimum one grip.
- ・ ベアハグを行う場合は、攻撃する選手が少なくとも片方の組み手を持っていなければならない。



・ It is not valid to make a second grip simultaneously. Only touching the judogi is not considered as kumikata, gripping is necessary.

・ 両手同時に（ベアハグの体勢に）組む事は認めない。柔道衣に触れただけでは組んでいるとはみなさない。しっかり柔道衣を握っていること。

Valid grips

有効な握り方



Bear hug - double points ベアハグ：ダブルポイント

・ If after a blue bear hug or blue touching the leg for the first time, white throws blue for a waza-ari; the score (white waza-ari) and the penalty (blue shido) will be given.

青の選手がベアハグをした後に、もしくは青の選手が1回目の脚取りを行った後、白が青の選手を投げて「技あり」を獲得した場合、スコア（白に「技あり」）に加えて罰則（青への「指導」）が与えられる。

Leg entanglement position 脚を巻き付けるポジション

・ The act of entangling the leg without making an immediate attack must be penalized with shido.

脚を巻きつける行為は、直ちに攻撃しない場合「指導」が与えられる。



Kawazu-gake – hansokumake 河津掛「反則負け」



Leg grabbing - forbidden 脚取り (罰則行為)

- ・Leg grabbing or grabbing the trousers, will be given shido, each time.
- ・There will be up to 3 shido for hansoku-make.
- ・脚取り、もしくは下穿きを掴む行為に対しては、毎回「指導」が与えられる。
- ・「指導」が3つ累積した場合、「反則負け」となる（脚取り指導2回での「反則負け」の廃止）。



Leg grabbing – allowed 脚取りではない

・Valid actions, no shido

有効なアクションであり、「指導」は与えられない。



Shime-waza – forbidden 絞技（罰則行為）

・ Shime-waza is not allowed with either your own or your opponents belt or bottom of the jacket, or using only the fingers.

・ This action should be penalized by shido.

・ 自身もしくは相手の帯、上衣の裾、もしくは指だけで絞技を施すことは認められていない。

・ これらの行為を行った場合「指導」が与えられる。



- ・ Shime-waza while over-stretching a straight leg is forbidden.
- ・ Special attention will be given to situations: where tori, whilst applying a shime-waza, also over-stretches and straightens uke's leg.
- ・ Mate! must be immediately given.
- ・ 相手の脚を過度に伸展して施す絞技は禁止とする。
- ・ 取が絞技を施しながら、受の脚を過度に伸展する状況においては、特に注意深く判定が行われる。
- ・ これらの行為が見られた場合、主審は直ちに「待て」を宣告する。



Valid actions, no shido 有効なアクション（指導ではない）

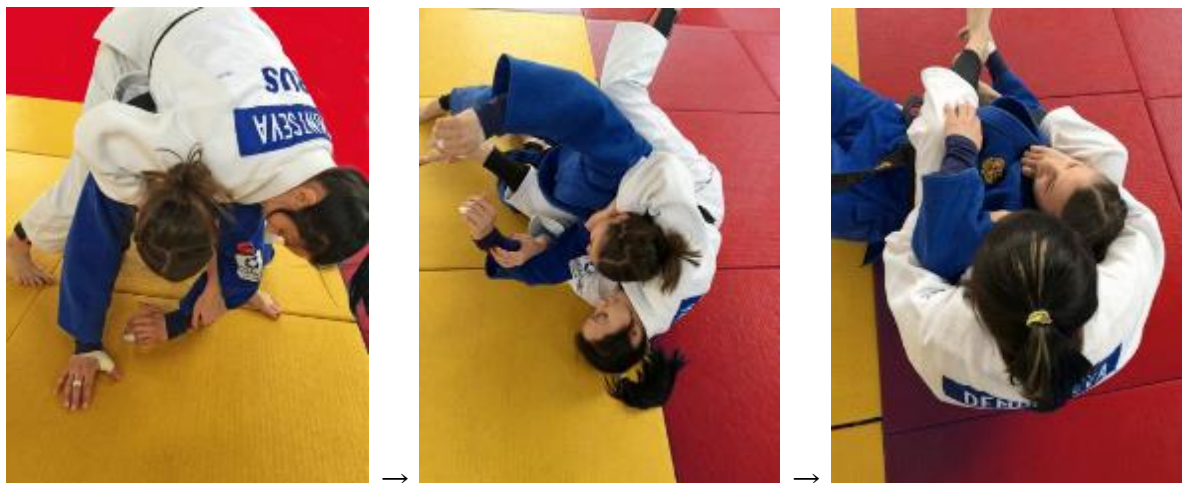
- ・ It is possible to grip the leg only when the two contestants are clearly in newaza and the tachi-waza action has stopped.
- ・ 投技の動きが終わり、両選手が明らかに寝技に移行した場合に限り脚を掴んでもよい。



Valid actions, no mate - kansetsu-waza 有効なアクション（「待て」を宣告する場面ではない） 関節技



Valid actions, no mate - shime-waza 有効なアクション（「待て」を宣告する場面ではない） 絞技



Valid actions, no mate 有効なアクション（「待て」を宣告する場面ではない）

- ・ When it is allowed to continue action that started in the valid area.
- ・ 場内で始まった行為については、継続される。



- ・ When it is allowed to continue action that started in the valid area
- ・ 場内で始まった行為については、継続される。



Kata-sankaku grip “肩三角グリップ”

It is allowed to use kata-sankaku grip in newaza action.

寝技の場合、肩三角グリップを施しても良い。



Kata-sankaku in ne-waza is prohibited to block the opponents body with the legs and must be mate. 寝技において、脚で相手の体を固定し肩三角グリップを施すことは禁止行為であり「待て」が宣告される。



Kata-sankaku grip in tachi-waza must be mate.

立技における肩三角グリップは「待て」が宣告される。



When is it ne-waza ? 寝技の定義

Both athletes must have two knees on the floor,
for it to be considered newaza.

両選手の両膝が畳についている場合、寝技とみなす。



No contact between the opponents must be Mate!

(立技から動きの流れが止まった場合や、寝技で攻める意志がなく) 相手と一切接触がない場合「待て」が宣告される。

Lying on the stomach on the ground, the blue athlete is in newaza.

腹ばいになった場合、青の選手は寝姿勢とみなされる。



Grip control from standing athlete (white):
we still consider athlete on the knees (blue)
in tachi-waza and consequently tachiwaza regulation
would be applied.



However, if white does not attack immediately,
then the referee must call Mate!

Athlete on the knees (blue) cannot grab the legs
to defend the throw with his arms, if this happens, shido will be given.
立ち姿勢の選手(写真: 白)が組手を制御している場合、膝をついている選手
(写真: 青)も依然立ち姿勢の状態であるとみなし、投技の規定が適用される。



ただし、白が直ちに攻撃しなかった場合、主審は「待て」を宣告する。

膝をついている選手(写真: 青)は、投げられるのを防ぐために白の脚を掴む(※その他脚取りに該当する行為)ことはできない。もし、そのような行為を行った場合は指導が与えられる。

Negative judo (SOR article 23) ネガティブ柔道 (SOR 第 23 条)

・ In the case of a double hansoku-make as a consequence of a third shido due to go against spirit of judo, both athletes will be disqualified from the competition.

・ For a direct hansoku-make given to both contestants, due to the action being against the spirit of judo the IJF will decide.

・ In any case of misbehaviour by an athlete, which merits disqualification, the IJF may exclude him from the rest of the event.

・ 柔道精神に反する行為により 3 つ目の「指導」を同時に受けた場合、「両者反則負け」となり、両選手は大会から失格となる。

・ 柔道精神に反する行為により直接的「反則負け」が両選手に与えられた場合、IJF が対応を決定する。

・ 失格となり得るような非道徳的な行為が選手にあった場合、IJF は選手をその大会から除外することができる。

VERY IMPORTANT

重要

If it is not extremely clear who should receive the score or penalty, in the spirit of fair play it is better not to take any decision and to allow the contest to continue.

スコアや罰則をどちらに与えるかが明確でない場合、フェアプレー精神の観点からいかなる決定も下さず、選手が試合を継続することが望ましい。